

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	津山市三世代研修宿泊施設
(2) 指定管理者	所在地 岡山県津山市山北520 名称 一般財団法人津山市都市整備公社 代表者 理事長 政岡 大介
(3) 公の施設の所管部署	津山市産業経済部仕事・移住支援室
(4) 指定期間	平成26年4月1日から平成31年3月31日
(5) 評価対象期間	平成28年4月1日から平成29年3月31日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	7,996人(前年度 7,580人)
(2) 事業の内容	津山市三世代研修宿泊施設の管理・運営

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額	40,848千円
	指定管理料収入	8,228千円
	利用料収入	32,152千円
	その他の収入	468千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額	40,848千円
	主な支出 人件費	16,422千円
	需用費	5,902千円
	役務費	1,260千円
	委託料(施設管理)	3,104千円
	使用料及び賃借料	2,580千円
	原材料費	9,191千円
	備品購入費	32千円
	負担金	5千円
	負担金・公租公課	1,786千円
	その他	566千円

4 総合評価結果

<p>(1) 指定管理者の自己評価</p>	<p>平成 28 年度の利用者数は、7,996 人で、前年度に比べて微増した。宿泊等の収入は、32,151,423 円を計上した。</p> <ul style="list-style-type: none">・施設の円滑な管理運営を図るため、津山市加茂郷文化ふれあい施設運営委員会を開催した。加茂地域の関係者を運営委員に委嘱し、事業計画等について助言や提案を受けた。・レストランや宴会等については、季節ごとの限定メニューの追加、団体や遠方の利用者へマイクロバスでの送迎サービス等を行うとともに、今年度は夏季に期間限定でビアガーデンを開催し、増客増収に努めた。・広報活動として、地元情報誌へ宴会プランの掲載やインターネットの宿泊予約サイトを利用して、利用者へ積極的に情報提供を行った。・昨年度に引き続き、津山地域雇用創造協議会が、開催する地元農林業への就業希望者を対象としたインターンシップに宿泊等で協力を行い、地元住民との交流や定住推進に寄与した。 <p>これらのことから、昨年度と比べ利用者及び利用収入が増加したことにより、概ね良好に業務を推進したものと評価する。</p>
<p>(2) アンケート調査の概要</p>	<p>利用者の利便性向上及び施設管理の充実を図るため、宿泊者を主にアンケートを実施した。概ね良好な意見が多かったが、風呂等の設備改修についての要望や指摘もあった。</p>
<p>(3) 市の評価</p>	<p>昨年度の評価において、営業活動に力を入れること及び利用者の利便性の向上を図ることに努力するよう指摘していた。</p> <p>上記(1)の指定管理者の自己評価にあるような活動を実施した結果、今年度の利用者数は、前年比 416 名の増、宿泊・レストラン等をあわせた利用料金収入は前年比 2,447 千円の増となり、効果が認められる。</p> <p>しかし、昨年落ち込みが大きかったため、早期に一昨年の水準まで回復するよう、一層魅力的な施設となるべく対策を講じてもらいたい。</p>